

2番 大井 淳一郎 議員

1 地上デジタル放送について

- (1) 完全移行まで4カ月余りとなった。現在の進捗状況と今後「地デジ難民」を出さないための取組みについて問う。
- (2) お年寄り等を狙った「地デジ詐欺」が発生している。現在の被害状況と対策について問う。
- (3) 地デジの特徴としてデータ放送があり、とりわけ防災情報・地域情報は貴重である。これらの情報をいかに発信していくのかについて問う。
- (4) 難視地区においては再送信同意が得られないため「完全移行に伴い九州の放送が見られなくなる」という問題がある。市としてこの問題をどのように考え、解消していくのかについて問う。

2 スtockマネジメントの必要性について

- (1) 新規事業として「公営住宅等長寿命化計画策定事業」が挙げられているが、計画策定に向けてどのように取り組んでいくのかについて問う。
- (2) 長寿命化の必要性は公営住宅等に限らない。市内にある公共施設の多くは更新時期を迎えており、適切な維持管理が求められる。公共施設全般を対象にした計画についての考えを問う。
- (3) 近年、市有財産（土地、建物）を資産と捉え、情報を全庁的に一元管理する「PRE戦略」という手法がある。これにより中長期的な資産活用と市民ニーズへの的確な対応が可能となる。PRE戦略の導入についての考えを問う。

3 新市民病院建設基本構想について

- (1) 本議会で基本計画に向けた設計委託費が計上されているが、この計画は基本構想そのものが反映されるのか。基本構想と基本計画の関係を問う。
- (2) 地域医療の当事者は行政や医療関係者に限らない。市民も当事者であり、共に地域医療をつくっていかなければならない。基本計画を策定する以前にワークショップなどを用いて市民の考えやニーズを反映させる考えはあるのかについて問う。